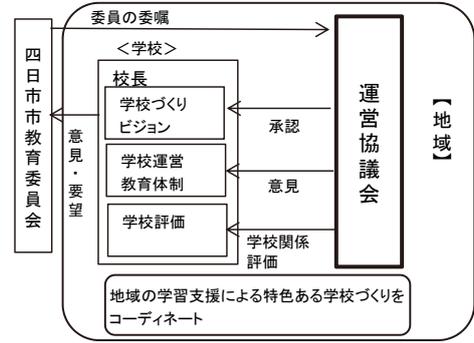


チームCHUBU コミュニティスクールの力で育つ「開かれた」学校

三重県四日市市	● 活動名	● 関係する学校名
	四日市市立中部中学校運営協議会	四日市市立中部中学校

設置年度	平成 18 年度	学級数	12 学級	児童・生徒数	322 人
学校運営協議会の委員数	9 人	学校運営協議員の属性	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成推進委員会会長 ・自治会長 ・婦人会会長 ・元市P連本部役員 ・元PTA会長 ・元PTA副会長 ・PTA会長 		
地域学校協働本部との連携・協働体制の有無	無				
参考 URL	http://www.yokkaichi.ed.jp/~chubu/cms2/htdocs/				

● 体制図



● 連絡先	四日市市立中部中学校	☎ 059-359-0114
-------	------------	----------------

● 活動の概要・経緯
 四日市市では、四日市版コミュニティスクール調査研究事業をすすめるため、平成18年度からモデル校を3校指定した。その中で唯一の中学校モデル校として本校に運営協議会が設置され、「地域とともにある学校づくり」を推進するため、学校・家庭・地域が一体となった不断の取組を継続している。

10年後の平成28年度には、地域未来塾の取組「放課後子ども教室」も始まり、週2回放課後に図書室で外国人生徒を中心として補充学習を行っている。また、四日市版コミュニティスクールの運営委員が地区市民センターで週1回夕方から夜にかけ、学習環境が整わない子供たちに学習支援を行う「スマイル」を開設した。「放課後子ども教室」とも連携し、地域との協働が進んでいる。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- ・ 職場体験においては、校区内の70以上の企業、事業所で実施している。
- ・ 地域スペシャリスト授業では、地域の伝統工芸や文化（日永うちわ、着付け、茶道、華道等）について、地域団体の方から教えてもらっている。
- ・ 運営協議会が主催者となる共同地区防災訓練に約50名の生徒が参加し、集合訓練やアルファ米の炊き出し訓練、救急法の体験を行ったり、幼稚園との合同津波避難訓練を行ったりしている。
- ・ 校区の伝統的なお祭り「大四日市祭り」の翌日、地域に残されたごみ等を一扫し美しい街の姿に戻すため、生徒会が中心となって行うボランティア活動「BC（ビューティフルシティ）への道」を行っている。

【実施にあたっての工夫】

- ・ 「振り向けばいつも地域の人」をコンセプトに、学校教育活動の様々な場面を公開し、その都度評価してもらうようにしている。校内研究授業として扱う道徳の授業や職場体験の様子を運営協議会のメンバーに見てもらうことで、生徒にとっては学校教育活動に「教師以外の目」があることが「普通」となるようにしている。
- ・ 外国人生徒の支援ができる地域人材の発掘を、地域で生活している運営協議会から紹介してもらっている。
- ・ 運営協議会は、いわゆる「会議形式」で各部会からの報告、検証といったPDCAサイクルだけでなく、「懇談形式」として、事項書や資料のない、談話を中心とした協議会を行っている。肩ひじ張らない談話の中で、協力体制と信頼関係を強固にしようとしている。

● 事業を実施しての効果・成果

- ・ 運営協議会では、学校運営部会、道徳・人権部会、教科授業づくり部会、生徒指導部会、特別支援教育部会、国際理解教育部会の6部会の担当教員から学校の取組を説明し、委員から意見をもらうことで、学校運営のヒントとなっている。
- ・ 意見交換会では、授業や行事の参観後に感想や評価をもらい、年度末には、学校自己評価の結果をもとに、本年度の反省と来年度に向けての意見をもらうことができた。次年度の学校づくりビジョン策定にあたり、教職員の総勤務時間の縮減について具体的かつ温かい御意見をいただき、学校づくりビジョンに盛り込むことができた。
- ・ 地域の方が学校の授業等に参画するだけでなく、生徒が地域行事に参加するようになり、コミュニティスクールの活動が双方の活動の充実につながっている。



地域スペシャリスト授業



共同地区防災訓練

ポイント

外国人受け入れ拠点校としての課題を、学校運営協議会が中心となって解決の手立てを推進していて、課題のある学校の模範となっていると思います。